

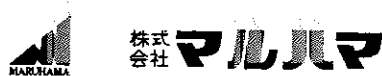
保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。正常な使用状態において、万一故障した場合には、お買い上げ販売店に必ず本保証書を提示の上、修理を依頼してください。別掲の保証規定により無料で修理いたします。

※印欄に記入がない場合は、無効となりますので、お買い上げ時に必ず記入の有無をご確認ください。

商品名	RT-623DX	
保証期間	※ お買い上げ年月日	1 年間
	平成 年 月 日から	
※ お客様	住所 〒 電話	様
	氏名	
※ 販売店	氏名 ㊟	印
	住所 〒 電話	

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



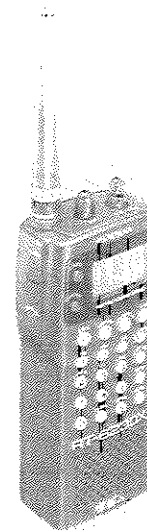
〒232-0023 横浜市南区白妙町4丁目43番地4
サービス部：TEL. 054 (626) 2098 (代)

MARUHAMA

0.1~1300MHz
ワイドバンドハンディレシーバー

RT-623DX

取扱説明書



RT-623DXをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分理解された上でご使用くださるようお願いいたします。

また、本書はいつもお手元においてその都度ご参照ください。

目次


	ページ
1. 安全についてのお願いとご注意	1
2. 製品の構成	6
3. 主な特長	7
4. ご使用になる前に	8
5. 操作方法 ステップ1	10
〈簡単受信をしてみましょう〉	
1. 名称とはたらき	11
2. 受信方法	12
6. 操作方法 ステップ2	15
〈マニュアル操作にチャレンジしましょう〉	
1. 各部の名称とはたらき	16
2. メモリーバンクの受信エリア	20
3. ダイレクト受信	22
4. 受信モードの設定	23
5. チャンネルステップの設定	24
6. ティレイ時間の設定	25
7. 秘話通信（スクランブル）の解説	26
8. チャンネルリバース	27
7. 操作方法 ステップ3	29
〈メモリー登録をしましょう〉	
1. メモリーの構成と登録方法	30
2. ダイレクトメモリーの登録と受信方法	31
3. グループ別チャンネルメモリーの登録と受信方法	32
4. エリアメモリーの登録と受信方法	34
5. バンクの書き替え	36
6. パスメモリーの登録	38
7. メモリーの消去	39
8. プログラム受信	43
9. プライオリティ受信	45
10. 盗聴電波の受信	48
11. ファンクションキーを使用した機能	49
12. 故障とお考えになる前に	51
13. 主な仕様	52


1. 安全についてのお願いとご注意


安全についてのお願い

本機を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では、最初に、もしお守りいただかないと、重大な人身事故につながるおそれのある事項を、“警告”として掲げています。次いで、もしお守りいただかないと、使用者がけがをしたり、製品の損傷や故障につながるおそれのある事項を、“注意”として掲げています。また、“法的規制”、“機能上の制約”についても説明しています。

本書では“警告”と“注意”に関し、マークを付与して注意を喚起しています。それらの使用区分は次のとおりです。なお、各マークの、外枠の中の小マークは、具体的な内容を示します。

 : 警告、注意(特定しない“警告”と“注意”を示します。)

 : 禁止(“警告”と“注意”の内、してはいけないことを示します。)

 : 強制(“警告”と“注意”の内、しなければならないことを示します。)

本機をご使用になる前に、これらの内容をよくお読みになり、十分理解の上操作してください。“警告”や“注意”は、本機を本書に規定する目的で使用する場合のみを想定しています。本書に書かれていない方法での使用は、絶対に避けてください。規定外の方法でご使用になったことによって、発生した事故などについて、弊社は一切の責任を負いません。





なお、本書を紛失、汚損された場合は切手400円分を同封の上、弊社宛て請求ください。

安全についてのご注意


⚠ 警告

(人身の安全のためにお守りいただくこと)




使用場所、使用環境

-  ■自動車、自転車など乗り物を運転中に操作しないでください。
乗り物の運転中に本機を操作することは、交通事故の原因になりますので、絶対に避けてください。
-  ■人混みの中では使用しないでください。
アンテナが目などに当たり、けがの原因になります。
-  ■本機に水がかかる可能性のある場所で使用しないでください。
風呂場では使用しないでください。また、雨天時、海岸、水辺での使用時には、水がかからないように十分注意してください。水がかかった場合はすぐに拭き取ってください。また、万一内部に水が入った場合は直ちに本機の電源を切り、外部電源を使用中の場合にはプラグを抜いてください。
そのまま使用しますと、火災や感電の原因になります。
-  ■雷が鳴り始めたら本機の使用を中断してください。
雷鳴時に本機に触れますと、感電の原因になります。


分解、改造の禁止

-  ■キャビネットは絶対にあけないでください。
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因になります。

電源、電源コードの取り扱い

-  ■定格以外の電圧で使用しないでください。
定格外の電圧を加えますと異常に発熱し、火災や感電などの原因になります。
-  ■外部電源を使用する場合はかならず付属の弊社純正品（ACアダプターまたはカー電源コード）をご使用ください。
他社製アダプターを使用しますと、故障の原因となるのみならず、異常に発熱し、火災の原因になります。また、本機同様、ACアダプターおよび、カー電源コードの分解や改造は、避けてください。
-  ■電源コードを傷つけたり、傷んだ電源コードを使用しないでください。
電源コードが傷んだ場合は、販売店から新品を購入してください。そのまま使用しますと、火災や感電の原因になります。




異常検出時の対処

-  ■発熱、発臭、発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。
これらの異常を検出した場合には、直ちに本機の電源を切り、ACアダプターを使用中の場合はコンセントから抜き、カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いて、使用を中止してください。
そのまま使用しますと、火災や感電の原因になります。修理は販売店に依頼してください。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。





⚠ 注意

(けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと)



使用環境、取り扱い

-  ■ 衝撃や振動を加えないでください。
衝撃や振動を加えますと、精密部品が壊れ故障の原因になります。
-  ■ テレビ、ラジオなどの電子機器から離れた場所でお使いください。
強い電磁波を発する電子機器の近くでは、正常に動作しない可能性があります。
-  ■ 規定範囲内の温度条件下でお使いください。
本機は-10℃～+60℃の範囲で動作します。この範囲外で使用しますと故障の原因になります。


乾電池の取り扱い

-  ■ 電池を本機に挿入する場合は極性（プラス、マイナスの方向）に注意し、指示通りに正しく挿入してください。
間違えて挿入しますと、乾電池の破裂、液漏れにより、けがをしたり故障の原因になります。
-  ■ 長期間使用しないときは、本機から乾電池を取り外してください。
長期間本機に乾電池を入れたまま放置しますと、乾電池の液漏れにより、故障の原因になります。
-  ■ 新旧の電池を混ぜて使用しないでください。
電池の劣化を早めるとともに、破裂、液漏れにより、けがをしたり故障の原因になります。
-  ■ 使用済みの電池をふつうのゴミと一緒に捨てないでください。
使用済みの電池は環境保全のため、地域で定められている“電池回収日”に所定の箱に入れるか、あるいは電器店の“電池回収箱”などへ入れてください。


保守

-  ■ 長時間ご使用にならないときは、電源を外してください。
そのまま放置しますと故障の原因になります。
-  ■ ケースが汚れた場合は、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、化学雑巾などを使用しますと、ケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際はかならず本機の電源を切ってください。

法的規制

-  ■ 電波法を遵守してください。
電波法第五十九条により、特定の相手方に対しておこなわれる無線通信を傍受し、その存在、もしくは内容を、第三者に漏らしたり、窃用することが禁止されています。厳重に注意してください。

機能上の制約

-  ■ 日本国内で使用してください。
本機の仕様は日本国内向けとなっています。外国では電波方式、電源電圧が異なりますので、使用できません。
- 音声、雑音とは違う信号音を受信することがあります。
本機はアナログ通信を対象としており、デジタル通信や制御チャンネル通信、また音声反転方式以外の秘話通信を、受信することはできません。その場合、雑音とは違う信号音を受信します。
- 内部干渉により指定帯域外の電波を受信することがあります。
指定した受信エリアとは違う、他のエリアのチャンネルを受信する場合があります。これは、広帯域受信機の内部干渉により発生する現象であり、受信機の故障ではありません。
- 使用場所により受信できない場合があります。
電波の遮断された建物の中、電波の届かない山中、強い電波が発射されている放送局の近辺などでは、受信できない場合があります。

2. 製品の構成

お買い上げいただいたRT-623DXは次の品目から構成されています。

- 本機……………1台
- ラバーアンテナ……………1本
- ロッドアンテナ……………1本
- ACアダプター……………1個
- カー電源コード……………1個
- イヤホン……………1個
- ハンドストラップ……………1個
- 取扱説明書兼保証書（本冊子）……………1冊

3. 主な特長

■ 超高感度・高性能受信機

受信機能をコンパクトボディに集約。ワイドな情報を超高感度で受信します。

■ 簡単操作

わかりやすい液晶表示と簡単な操作性により、豊富な機能も容易にご使用いただけます。

■ 0.1～1300MHzの広帯域を高感度受信

0.1～1300MHzの広帯域をフルカバー。さらに、AM・FM-N・FM-Wの受信モードを搭載していますので、聞きたい情報を逃さずキャッチします。

■ 多彩で大容量のメモリーバンク

大容量のメモリーバンクを、6ブロック（3バンク+3メモリー）に分けることにより、使用頻度や目的に応じてメモリー登録できます。その他、受信に不要なチャンネルをパスするパスメモリーや、プライオリティチャンネルメモリーを搭載。

	ブロック	メモリー数	メモリー	
メモリーバンク	A	10エリア(初期登録済・変更可)	携帯電話(基地局)・コードレス電話・航空無線など	
	B	10エリア(初期登録済・変更可)	AM/FMラジオ放送・テレビ音声・短波放送など	
	AB	10エリア(初期登録済・変更可)	消防/救急無線・防災行政無線	
	メモリー	A	270チャンネル(30CH×9グループ)+1エリア	初期はメモリー未登録
		B	270チャンネル(30CH×9グループ)+1エリア	
		AB	600チャンネル	
	パスメモリー	200チャンネル	初期はメモリー未登録	
	プライオリティ	10チャンネル	1チャンネルはメモリー登録済み	

■ 盗聴電波の受信

無線式盗聴器が発信する電波を受信することができます。なお、無線式盗聴器によく使用される周波数が、あらかじめメモリーバンクに登録されています。

■ 秘話通信の解読

コードレス電話の秘話通信（音声反転方式）を解読できます。

■ その他便利な機能

- チャンネル・リバース
- キーロック
- バックライト照明
- アッテネーター機能
- 操作音の消去

4. ご使用になる前に

1. 電源について

本機の電源には乾電池（単3形 4本）を使用します。アルカリ乾電池の場合は、受信待機時で約18時間連続使用できます。また、付属のACアダプターやカー電源コードにより、家庭用電源（AC100V）や車載用電源（DC12V）を利用することもできます。

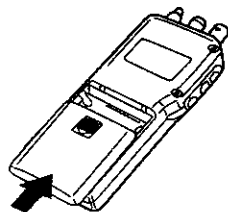
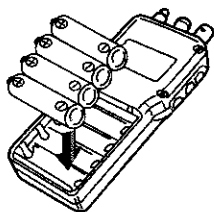
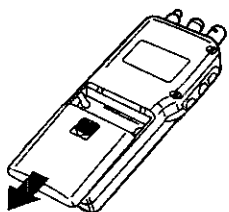
※外部電源を得る場合は、かならず本機の電源を切ってから、付属のACアダプターまたはカー電源コードを接続してください。

2. 乾電池の入れかた

① 本体背面の電池蓋を矢印の方向にスライドして外します。

② 乾電池（単3形 4本）の極性を間違えないように入れます。

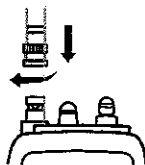
③ 電池蓋をスライドして固定します。



3. 付属品の取り付け方法

① アンテナの取り付け

アンテナ端子に付属のアンテナを取り付けます。アンテナ端子の突起部とアンテナの溝を合わせて押し込み、1/4回転回して固定します。

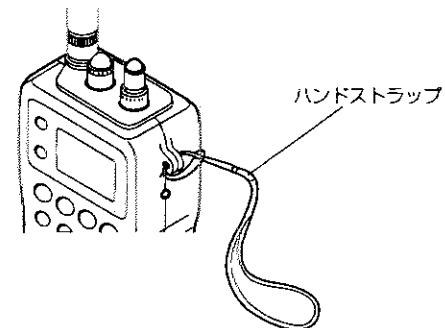


ちょっとひと言

- 付属のアンテナは2種類あります。ロッドアンテナは本機の受信周波数範囲の全帯域で使用できます。また、300MHz以上の高周波の場合は、ラバーアンテナの方が感度良く受信できます。
- 付属のアンテナ以外に、市販のアンテナ（BNC型）もご使用になれます。市販のアンテナを使用する場合は、目的の周波数に合う、インピーダンスが50Ωのものを使用してください。

② ハンドストラップの取り付け

本体のハンドストラップ取付穴に、図のように通して取り付けます。



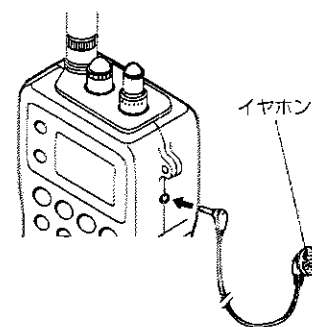
4. イヤホンで聞く場合

イヤホンでお聞きになる場合は、かならず音量を下げてから、イヤホンをつけてください。

① 音量を下げます。

② 付属のイヤホンを、本体側面のイヤホンジャック（EAR）に接続します。

③ 音量つまみ（VOL）を回して適度な音量にします。



ちょっとひと言

- イヤホンを接続すると、本体内蔵のスピーカーからは音が出ません。
- 音量つまみが同じ位置でもイヤホンで聞く場合は、スピーカーよりかなり音が大きく聞こえます。イヤホンでお聞きになる場合は、音量に注意してください。

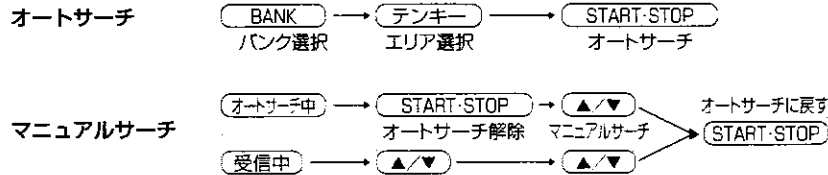
5. 操作方法 **ステップ1**

〈簡単受信をしてみましょう〉

- 1. 名称とはたらき……………P11
- 2. 受信方法
 - ①受信エリア内をオートサーチする……………P12
 - ②受信エリア内をマニュアルサーチする……………P14

本機は、よく聞くエリアを30エリア（3バンク×10エリア）に分けて、メモリーバンクに登録しています。お聞きになりたいエリアを、簡単に呼び出して受信します。

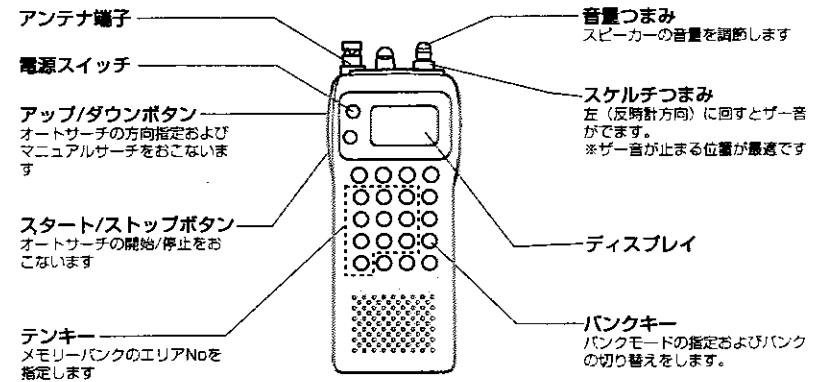
操作方法一覧



メモリーバンクの受信エリア

エリアNo	BANK A	BANK B	BANK AB
1	NTT携帯電話基地局	AM放送	消防・救急（北海道）
2	新電々系携帯電話基地局	FM放送	消防・救急（東北・北陸）
3	小電力コードレス電話	TV・CATV音声	消防・救急（東海）
4	航空無線（VHF）	短波放送	消防・救急（関東）
5	航空無線（UHF）	防災行政無線	消防・救急（中部）
6	ワイヤレスマイク	タクシー無線	消防・救急（近畿）
7	アマチュア無線（1.44MHz）	業務用無線	消防・救急（中国・四国）
8	アマチュア無線（430MHz）	バス・鉄道・新交通システム	消防・救急（九州・沖縄）
9	パーソナル無線	道路公団	防災行政無線（100/400MHz）
0	盗聴電波	CB無線	防災行政無線（800/900MHz）

1. 名称とはたらき



アンテナの使用法

付属のアンテナは、ロッドアンテナとラバーアンテナの2種類あります。オールバンド受信をする場合は、ロッドアンテナを使用します。また、高周波（300MHz以上）を高感度受信したい場合は、ラバーアンテナを使用します。

ロッドアンテナ

8段式伸長ロッドアンテナです。受信周波数帯の波長に合うよう、アンテナの長さを調整して使用します。オールバンド（0.1MHz～1300MHz）で使用できます。

〈ロッドアンテナの長さ調整の目安〉

受信周波数帯	アンテナの長さ
100MHz以下	8段
300MHz帯	3～4段
900MHz帯	1段

ラバーアンテナ

フレキシブル構造のアンテナです。300MHz以上の周波数を効率よく受信します。特に、900MHz帯（自動車・携帯電話など）の高周波を高感度受信します。

2. 受信方法

①受信エリア内をオートサーチする

メモリーバンクに登録済みのエリアをオートサーチして、チャンネルを受信する。

操作方法

(例) BANK [A]のエリア [1]に登録してある受信エリアをオートサーチして受信する場合

- ① 電源を入れます。
電源スイッチ (POWER) を1秒以上押し続けると、ディスプレイが表示して、動作を開始します。
- ② 音量を調節します。
音量つまみ (VOL) を回して、適度な音量に調節してください。
- ③ スケルチを調節します。
スケルチつまみ (SQL) を回してザー音が止まる位置に調節します。

ちょっとひと言

●スケルチつまみを右(時計方向)に回しすぎると、オートサーチはしますが、弱い電波を受信できなくなります。また、左(反時計方向)に回しすぎるとオートサーチしなくなります。START-STOP ボタンを押してスケルチつまみの位置を確認してください。

- ④ BANK [A]を指定します。
[BANK] キーを押して、BANK [A]を指定してください。
キーを押す度に、BANK [A]→[B]→[AB]の順に切り替わります。

- ⑤ エリアNo [1]を指定します。
テンキーの①を押します。
エリアNoを指定すると、ディスプレイにそのエリアの最初のチャンネル(周波数)・受信モード・チャンネルステップ・ディレイ時間などを表示します。



- ⑥ オートサーチ(自動選局)します。
START-STOP ボタンを押すと、ディスプレイに“▲”マークが点灯して最初のチャンネルより上側にオートサーチを開始します。



ちょっとひと言

●オートサーチ中に ▲ アップまたは ▼ ダウンボタンを押すと、押した方向にオートサーチします。

- ⑦ チャンネルを受信します。
通話中のチャンネルがあると、そのチャンネルでオートサーチを停止して、受信状態になります。

- ⑧ 受信中のチャンネルが終了または電波が非常に弱くなって受信できない場合は、ディレイ時間分受信待機したあと、次に使用しているチャンネルまでオートサーチを開始します。

ご注意

- ディスプレイに“HOLD”を表示していたり、“▲”マークが消えている場合は、そのチャンネルで受信待ちになります(オートサーチしません)。オートサーチさせる場合は、START-STOP ボタンを1回押します。
- ⑨ チャンネルを受信中に他のチャンネルをサーチしたい場合は、START-STOP ボタンを2回押します。
次に使用中のチャンネルまでオートサーチを開始します。

ちょっとひと言

- 電源スイッチを押したときに、ディスプレイに何も表示されなかったり、“●●●”マークを表示している場合は、電池が消耗していますので、新しい電池と交換してください。
- キーロック (KEY LOCK) 表示
ディスプレイに“KEY LOCK”が表示されている場合は、キーボード(機能キーとテンキー)のキー操作が何もできなくなります。
※ [MONI] キーは操作できます。
[LIGHT-KEY] キーを2秒以上押し続けると、キーロックを解除します。
- HOLD (ホールド) と DELAY (ディレイ)
ディスプレイに表示されている“HOLD”または“DELAY”とは、オートサーチまでの受信待ち時間条件のことです。
“HOLD”は、一度電波を受信すると、受信中の電波が無くなっても、そのチャンネルで受信待ちの状態になります。
一方、“DELAY”は一定時間(設定された時間)受信待ちをしたあと、オートサーチを開始します。ディレイ時間は各エリア毎に初期設定してあります。
※ディレイ時間の設定を替えることもできます。

②受信エリア内をマニュアルサーチする

メモリーバンクに登録済みのエリアを、マニュアル操作でサーチします。

操作方法

- ① 受信エリアを呼び出します。
「①受信エリア内をオートサーチする」をおこなって、受信エリア（バンクおよびエリアNo）を指定します。
- ② オートサーチを停止します。
オートサーチ中は、**START-STOP** ボタンを1回押します。
オートサーチが停止しているとき（受信中）は、アップ/ダウン（▲/▼）を押します。
- ③ マニュアルサーチをします。
▲ アップまたは ▼ ダウンボタンを押す度に、押した方向に1ステップずつ受信チャンネルが移動します。

ちょっとひと言

●受信チャンネルの移動するステップ（チャンネルステップ）は、各エリア毎に初期設定してあります。
※チャンネルステップの設定を変えることもできます。

- ④ ボタンを押し続けた場合は、押した方向に1ステップずつサーチし、ボタンを離すまでエリア内をサーチします。

ちょっとひと言

● ▲ アップまたは ▼ ダウンボタンを押しながら **FUNC** ボタンを押すことにより、**FUNC** ボタンを押している間、マニュアルサーチのスピードが速くなります。

- ⑤ オートサーチさせる場合は、**START-STOP** ボタンを押します。

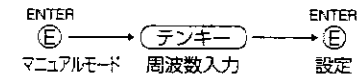
6. 操作方法 **ステップ2**

〈マニュアル操作にチャレンジしましょう〉

- 1. 各部の名称とはたらき……………P16
- 2. メモリーバンクの受信エリア……………P20
- 3. ダイレクト受信……………P22
- 4. 受信モードの設定……………P23
- 5. チャンネルステップの設定……………P24
- 6. ディレイ時間の設定……………P25
- 7. 秘話通信（スクランブル）の解読……………P26
- 8. チャンネルリバース……………P27

操作方法一覧

ダイレクト受信



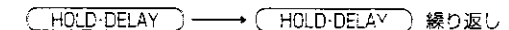
受信モード設定



チャンネルステップ設定



ディレイ時間設定



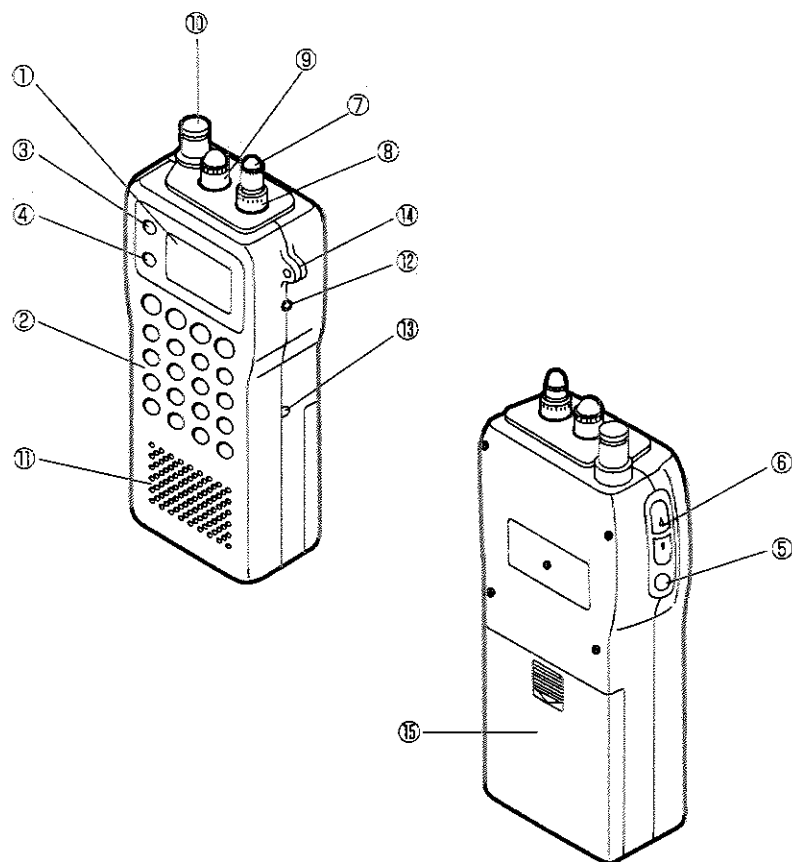
秘話解読



チャンネルリバース

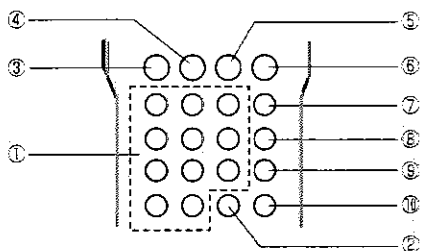


1. 各部の名称とはたらき



- ① **ディスプレイ**
周波数・チャンネルステップ・受信モードなどの表示と、各動作モードを表示します。
- ② **キーボード**
受信エリア・周波数などを指定する数値キー(テンキー)と、各機能を持った機能キーがあります。
- ③ **電源スイッチ**…… **POWER**
電源をON/OFFします。
スイッチを1秒以上押し続ける度に、ON/OFFが切り替わります。
- ④ **ライト/キーロックキー**…… **LIGHT・KEY**
ディスプレイおよびキーボードのバックライトを、約10秒間点灯します。
キーを2秒以上押し続けると、キーボードによるキー操作ができなくなります。
- ⑤ **スタート/ストップボタン**…… **START・STOP**
オートサーチ(自動選局)の開始/停止をします。
- ⑥ **アップ/ダウンボタン**…… **▲/▼**
オートサーチの方向指定や、マニュアルサーチなどをおこないます。
- ⑦ **音量つまみ**…… **VOL**
音量を調節します。
つまみを右に回すと音量が大きくなります。
- ⑧ **スケルチつまみ**…… **SQL**
ノイズスケルチを調整します。
左(反時計方向)に回すとザー音が出て、右(時計方向)に回すと、ザー音が消えます。
ザー音が出る直前の位置が最適です。
- ⑨ **シフトつまみ**…… **SHIFT**
音声反転式の秘話解読時(→P26)に、キャリア調整をします。
- ⑩ **アンテナ端子**
付属のアンテナを接続します。市販のアンテナ(BNC型)も接続できます。
- ⑪ **スピーカー**
- ⑫ **イヤホンジャック**…… **EAR**
付属のイヤホン(モノラル)を接続します。
イヤホンを接続すると、スピーカーからは音が出ません。
- ⑬ **外部電源ジャック**…… **DC 12V**
付属のACアダプターやカー電源コードを接続します。
- ⑭ **ハンドストラップ取付穴**
- ⑮ **電池蓋**

〈キーボード〉



- ① 数値キー…… ①～⑩・

周波数・受信エリアNoの指定、チャンネルNoの指定などをおこないます。
- ② エンターキー……

マニュアルモード (→P22) に切り替えます。
また、周波数の入力時やメモリー登録時などの、確定入力をおこないます。
- ③ モニターキー……

キーを押している間、スケルチをOFFにします。
- ④ プログラム/プライオリティキー……

プログラム受信の開始/停止 (→P43) をおこないます。
キーを1秒以上押し続けることで、プライオリティ受信の開始/停止 (→P45) をおこないます。
- ⑤ ホールド/ディレイキー……

自動選局時の受信待ち時間 (ディレイ時間) の設定 (→P25) をおこないます。
- ⑥ ファンクションキー……

ファンクションモード (→P49) にします。
- ⑦ モード/パスキー……

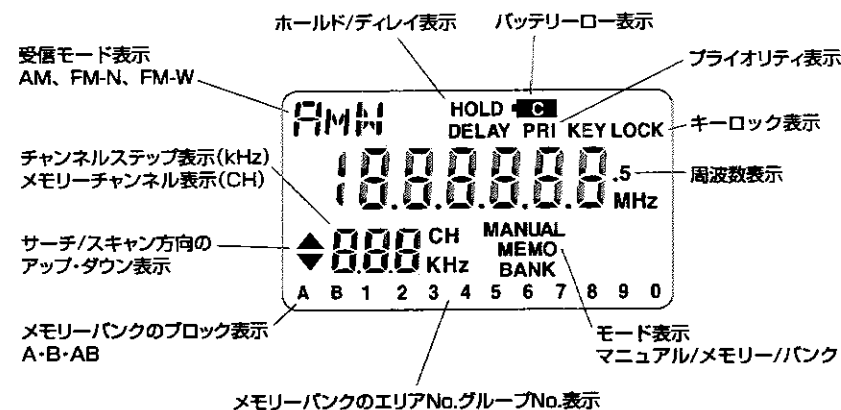
受信モードの設定 (→P23) を切り替えます。
キーを1秒以上押し続けることにより、受信中のチャンネルをパスメモリーに登録します。(→P38)
- ⑧ ステップ/セットキー……

チャンネルステップの設定 (→P24) を切り替えます。
キーを1秒以上押し続けることにより、受信中のチャンネルをMEMO に登録します。(→P31)
- ⑨ バンクキー……

バンクの切り替えをおこないます。
- ⑩ メモリーキー……

メモリーの切り替えをおこないます。

—— ディスプレイ ——



2. メモリーバンクの受信エリア

本機では、よく聞くエリアを30エリア（3バンク×10エリア）に分けて、メモリーバンクに初期登録しています。お聞きになりたい受信エリアを、ワンタッチで呼び出せます。

メモリーバンクに初期登録している受信エリア

バンク	エリア No	受信エリア	受信周波数範囲(MHz)	チャンネルステップ(kHz)	受信モード	ディレイ時間(秒)
A	1	NTT携帯電話基地局	870.0125~884.9875	12.5	FM-N	2
	2	新電々系携帯電話基地局	843.0125~869.9875	12.5	FM-N	2
	3	小電力コードレス電話	380.2125~381.3125	12.5	FM-N	2
	4	航空無線 (VHF)	118.0000~142.0000	50	AM	5
	5	航空無線 (UHF)	225.0000~368.2000	100	AM	5
	6	ワイヤレスマイク	797.1250~809.7500	125	FM-W	ホールド
	7	アマチュア無線 (144MHz)	144.0000~146.0000	20	FM-N	5
	8	アマチュア無線 (430MHz)	430.0000~440.0000	20	FM-N	5
	9	パーソナル無線	901.0375~904.9875	12.5	FM-N	5
	0	盗聴電波	VHF帯・UHF帯	—	FM-N	5
B	1	AM放送	0.5310~1.6290	9	AM	ホールド
	2	FM放送	76.1000~89.9000	100	FM-W	ホールド
	3	TV音声 CATV音声	95.7500~221.7500	6000	FM-W	ホールド
			475.7500~769.7500			
			113.7500~169.7500 227.7500~467.7500			
	4	短波放送	5.9500~21.8250	5	AM	ホールド
	5	防災行政無線	57.2600~69.7650	15/30	FM-N	5
	6	タクシー無線	364.8750~451.5000	12.5	FM-N	5
			149.2900~159.0900			
	7	業務用無線	364.7500~468.8500	12.5/25/50	FM-N	5
142.9000~159.1700						
8	バス・鉄道・新交通システム	341.1500~415.2000	12.5/25	FM-N	5	
		149.4500~150.8500				
9	道庁公団・特定小電力トランシーバー	340.8500~440.3625	12.5	FM-N	2	
		26.5150~27.8550				
0	CB無線	26.5150~27.8550	—	AM	5	

バンク	エリア No	受信エリア	受信周波数範囲(MHz)	チャンネルステップ(kHz)	受信モード	ディレイ時間(秒)
C	1	消防・救急 (北海道)	VHF帯・UHF帯	—	FM-N	5
	2	消防・救急 (東北・北陸)	VHF帯・UHF帯	—	FM-N	5
	3	消防・救急 (東海)	VHF帯・UHF帯	—	FM-N	5
	4	消防・救急 (関東)	VHF帯・UHF帯	—	FM-N	5
	5	消防・救急 (中部)	VHF帯・UHF帯	—	FM-N	5
	6	消防・救急 (近畿)	VHF帯・UHF帯	—	FM-N	5
	7	消防・救急 (中国・四国)	VHF帯・UHF帯	—	FM-N	5
	8	消防・救急 (九州・沖縄)	VHF帯・UHF帯	—	FM-N	5
	9	防災行政無線 (100/400MHz)	143.2600~158.5300	20	FM-N	5
			407.2000~467.3750			
0	防災行政無線 (800/900MHz)	846.2500~902.8000	12.5	FM-N	5	

ちょっとひと言

- 受信モード・チャンネルステップ・ディレイ時間の設定は、変更することができます。各設定を変更するには、次のページをご参照ください。
 - ・受信モード →P23
 - ・チャンネルステップ →P24
 - ・ディレイ時間 →P25

3. ダイレクト受信

お聴きになりたい周波数（チャンネル）をキーボードより入力し、ダイレクトにそのチャンネルを受信します。

操作方法

（例）871.0125MHzのチャンネルをダイレクトに受信する。

① マニュアルモードにします。

ENTER
① キーを押してください。
マニュアルモードになると、ディスプレイの表示が、“BANK”から“MANUAL”に切り替わります。

② 受信したいチャンネル 871.0125 MHzを入力します。

テンキーにより、⑧⑦①①①②⑤の順に入力します。入力ミスした場合は、CLEAR
① キーを押して、周波数表示を消してから、再度入力してください。



③ ENTER ① キーを押して、入力した周波数の確定をします。 入力したチャンネルで受信状態になります。

④ ダイレクト受信（マニュアルモード）を解除するときは、BANK キーを押します。 バンクモードに戻ります。

ちょっとひと言

- ENTER
① キーを押すと、入力したチャンネルの小数点以下の桁が、チャンネルステップと一致するように自動補正されます。
たとえば、チャンネルステップが12.5kHzの場合、871.015を入力すると、871.0125になります。受信周波数に合うように、チャンネルステップの設定を変更してください。
- マニュアルモードにすると、エリア指定の範囲がなくなり、オールバンド（0.1～1300MHz）での受信ができます。

4. 受信モードの設定

受信エリアの全帯域で、受信モードを切り替えることができます。
また、切り替えた受信モードで、オートサーチおよびマニュアルサーチができます。

操作方法

（例）BANK A・エリア 1の受信モードを AM に切り替えてサーチする場合

① BANK A のエリア 1 を呼び出します。

「①受信エリア内をオートサーチするP12」をおこなって、受信エリアを指定します。
BANK A・エリア 1の場合、初期の受信モード FMN モードを表示します。

② 受信モードを AM に切り替えます。

MODE-PASS キーを押して、AM に切り替えてください。
キーを押す度に、FMN → FMW → AM の順に切り替わります。



③ オートサーチします。

START-STOP ボタンを押してください。
BANK A・エリア 1の受信エリアを、AMモードでオートサーチします。

ちょっとひと言

- 受信エリアと受信モードが合っていない場合、音声が変わったり、受信できなくなる場合があります。その場合は、正常な音声で聞こえるように、受信モードを切り替えてください。
※受信エリアと受信モードの関係は、P20「メモリーバンクの受信エリア」をご覧ください。

5. チャンネルステップの設定

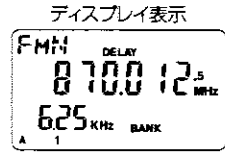
受信エリアの全帯域で、チャンネルステップを切り替えることができます。また、切り替えたチャンネルステップで、オートサーチおよびマニュアルサーチができます。

切り替え可能なチャンネルステップ：5/6.25/9/10/12.5/20/25/50/100kHz

操作方法

(例) BANK [A]・エリア [1] のチャンネルステップを [6.25kHz] に変更してオートサーチする場合

- 1 BANK [A] のエリア [1] を呼び出します。
「①受信エリア内をオートサーチするP12」をおこなって、受信エリアを指定します。
- 2 チャンネルステップを [6.25kHz] に変更します。
「STEP-SET」キーを押して、[6.25kHz] にしてください。
キーを押す度にチャンネルステップが
5→6.25→9→10→12.5→20→25→50→100kHz
と切り替わります。
チャンネルステップ表示が「—」になっている場合は、チャンネルステップの変更はできません。
- 3 オートサーチを開始します。
「START-STOP」ボタンを押してください。
BANK [A]・エリア [1] の受信エリアを、チャンネルステップ [6.25kHz] でオートサーチします。



ちょっとひと言

- チャンネルステップが、受信エリアのステップ（初期設定のステップ）と合っていない場合は、チャンネルを受信できなくなる場合があります。初期設定時のステップと合うように、チャンネルステップを切り替えてください。例えば、チャンネルステップの初期設定が、12.5kHzの場合、6.25kHz(1/2倍)、25kHz(2倍)、50kHz(4倍)、100kHz(8倍)のいずれかに切り替えてください。
※受信エリアとチャンネルステップの関係は、P20「メモリーバンクの受信エリア」をご覧ください。
- チャンネルステップを小さく（狭く）設定した場合は、エリア内を細かく受信します。また、大きく（広く）設定した場合は、エリア内を素早くサーチできます。

6. デイレイ時間の設定

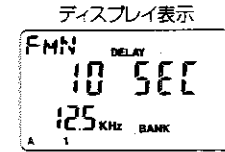
受信エリアの全帯域で、デイレイ時間（受信待ち時間）を切り替えることができます。また、切り替えたデイレイ時間で、オートサーチおよびマニュアルサーチができます。

切り替え可能なデイレイ時間：2秒/5秒/10秒/ホールドの4段階

操作方法

(例) BANK [A]・エリア [1] のデイレイ時間を10秒に変更してオートサーチする場合

- 1 BANK [A] のエリア [1] を呼び出します。
「①受信エリア内をオートサーチするP12」をおこなって、受信エリアを指定してください。
BANK [A]・エリア [1] の場合、初期のデイレイ時間は2秒になっています。
- 2 デイレイ時間を10秒に変更します。
「HOLD-DELAY」キーを押して、10秒に切り替えてください。
キーを押す度に、デイレイ時間が、
2秒→5秒→10秒→ホールドと切り替わります。
- 3 オートサーチを開始します。
「START-STOP」ボタンを押してください。
BANK [A]・エリア [1] の受信エリアを、デイレイ時間10秒でオートサーチします。



ちょっとひと言

- デイレイ時間をホールド（ディスプレイに「HOLD」を表示）に設定した場合、一度チャンネルを受信すると、そのチャンネルで受信待ちの状態になり、オートサーチをしなくなります。受信エリアに合ったデイレイ時間にしてください。
※受信エリアとデイレイ時間の関係は、P20「メモリーバンクの受信エリア」をご覧ください。

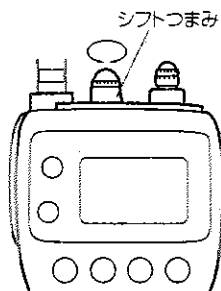
7. 秘話通信（スクランブル）の解説

コードレス電話の秘話通信機能（スクランブル機能）は、おもに音声反転式が使用されています。秘話通信を受信する場合、そのままでは音声として聞くことはできません。本機は、コードレス電話の音声反転式秘話通信を解説することができます。

操作方法

コードレス電話の秘話通信を受信したときに、**FUNC** キーを押し、次にテンキーの①を押します。

- ① 秘話通信を受信する。
- ② **FUNC** キーを押します。
ディスプレイに“F”が点滅します。
- ③ 5秒以内に①キーを押します。
秘話通信を解説（音声反転）します。
音声反転時は、ディスプレイの受信モード表示が点滅します。
- ④ シフトつまみ **SHIFT** を調整します。
シフトつまみを回して、音声が聞きとりやすい位置に調整します。



ちょっとひと言

- 秘話解説機能は、受信中のチャンネルのみ有効です。オートサーチなどで受信チャンネルが変わった場合は、秘話解説機能が解除されます。
- 秘話がかかっていないチャンネルを受信中に、秘話解説機能を実行した場合は、音声が反転した状態になります。元の状態に戻す場合は、**FUNC** キー→①キーの操作をしてください。秘話解説機能が解除されて、秘話解説前の音声に戻ります。
- 本機は、音声反転式以外の秘話通信を解説することはできません。
また、自動車電話および携帯電話の秘話通信は解説できません。

8. チャンネルリバーズ

基地局と移動局のある周波数帯を受信中に、基地局側と移動局側の周波数を、交互に切り替えて受信することができます。

リバーズ可能な受信周波数範囲

受信エリア	基地局 (MHz)	移動局 (MHz)
救急・地方鉄道等	146.0400~147.9800	142.0400~143.9800
国際VHF・マリンバンド	160.6000~162.0500	156.0000~157.4500
沿岸船舶電話 (旧)	268.0375~268.7875	253.0375~253.7875
コードレス電話	380.2125~381.3125	253.8625~254.9625
沿岸船舶電話 (新)	271.0500~274.9750	262.0500~265.9750
移動警察電話・海上自衛隊 ・海上保安庁船舶電話・マリンホン	351.9500~358.9750	335.4500~342.4750
ガス事業用 (MCA)	385.0500~385.1500	367.0500~367.1500
新救急・建設省等 (MCA)	395.2000~396.2750	371.1000~372.1750
道路公団・業務用	398.7500~399.7500	382.7500~383.7500
防災行政 (MCA)	457.2125~458.2250	410.2125~411.0250
特定小電カトランシーバー	440.0250~440.3650	421.5750~421.9150
アマチュア無線	439.0000~441.0000	434.0000~435.0000
タクシー無線	458.2500~459.5000	450.2500~451.5000
放送事業用	469.5250~469.9750	459.5250~459.9750
タクシー無線	453.3000~453.3375	467.8000~467.8375
コンビニエンスラジオホン	945.0125~950.9875	815.0125~820.9875
各種無線電話 (空港・航空機・マリネットホン) MCA/JSMR・新電々系携帯電話	885.0125~900.9875	830.0125~845.9875
地域防災無線 (MCA)	901.2000~902.8000	847.2000~848.8000
MCA/JSMR	905.0000~940.0000	850.0000~885.0000
自動車・携帯電話 (NTT、新電々系)		
アマチュア無線	1291.0000~1293.0000	1271.0000~1273.0000

例えば基地局のチャンネルを受信中にチャンネルリバーズをおこなうと、移動局のチャンネルを受信し、その後はキー操作により、基地局と移動局のチャンネルを交互に切り替えて、受信できます。

操作方法

① チャンネルリバー스가可能なチャンネルを受信します。

リバー可能なチャンネルを受信すると、受信したチャンネルが基地局なら「▼」、移動局なら「▲」が、ディスプレイに点滅表示されます。

ディスプレイ表示



② FUNC キーを押します。

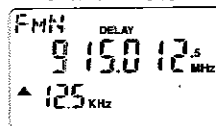
ディスプレイに「F」が点滅します。

③ 5秒以内に REV キーを押します。

リバーモードになり、基地局と移動局が切り替わります。ディスプレイの方向表示部で、どちらの局を受信中か表示します。

- 基地局側 ▼ 点滅
- 移動局側 ▲ 点滅

ディスプレイ表示



④ REV キーを押す度に、基地局と移動局のチャンネルを切り替えて受信します。

ご注意

- リバーモードで移動局に切り替えたときに、移動局の電波が弱い場合、受信しにくいことがあります。

ちょっとひと言

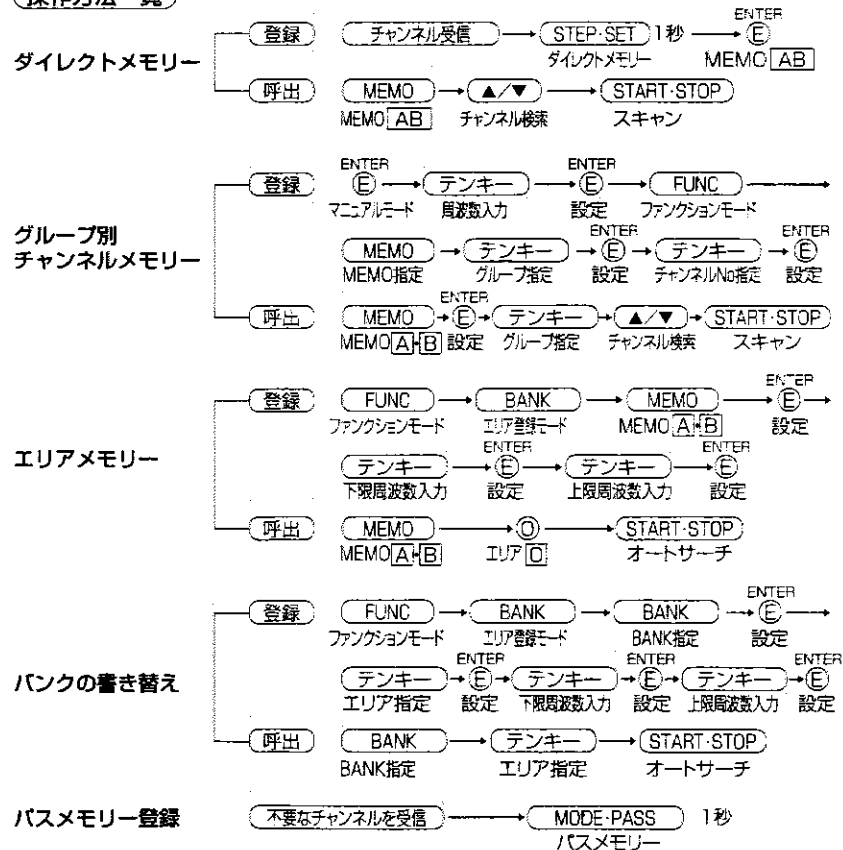
- リバーモードをおこなうと、オートサーチが解除されて、そのチャンネルを受信したままになります。サーチさせる場合は、(START-STOP) ボタンを押します。
- リバーモードは受信中のチャンネルのみ有効です。リバー中の受信チャンネルをサーチなどで変更した場合は、リバーモードが解除されます。

7. 操作方法 ステップ3

〈メモリー登録をしましょう〉

- 1. メモリーの構成と登録方法 P30
- 2. ダイレクトメモリーの登録と受信方法 P31
- 3. グループ別チャンネルメモリーの登録と受信方法 P32
- 4. エリアメモリーの登録と受信方法 P34
- 5. バンクの書き替え P36
- 6. パスメモリーの登録 P38
- 7. メモリーの消去 P39

操作方法一覧



1. メモリーの構成と登録方法

本機は、大容量のメモリーバンクを、6ブロック（3バンク+3メモリー）に分けることにより、使用頻度や目的に応じてメモリー登録できます。
また、不要なチャンネルをパスするパスメモリーや、特定のチャンネルを優先受信するプライオリティチャンネルメモリー（→P45）があります。

メモリーの構成

ブロック	メモリー数	メモリー登録
バンク	A 10エリア（初期登録済）	エリア（受信周波数範囲）を書き替え
	B 10エリア（初期登録済）	エリア（受信周波数範囲）を書き替え
	AB 10エリア（初期登録済）	エリア（受信周波数範囲）を書き替え
メモリー	A 270チャンネル（30CH×9グループ）+1エリア	グループ別に周波数を登録、1エリアを登録
	B 270チャンネル（30CH×9グループ）+1エリア	グループ別に周波数を登録、1エリアを登録
	AB 600チャンネル	ダイレクトメモリー
パスメモリー	200チャンネル	パスメモリー
プライオリティ	10チャンネル	プライオリティチャンネルメモリー（→P45）

メモリーの登録

メモリーバンクへのメモリー登録は、下記の3つの方法があります。

- ① 受信中のチャンネルをそのままメモリー登録する→ダイレクトメモリー
メモリーバンクのMEMO [A]・[B] にメモリー登録します。
[000CH]～[599CH]まで600チャンネルメモリーできます。
- ② チャンネル（周波数）をグループ別にメモリーする
メモリーバンクのMEMO [A]・[B] の、グループNo [1]～[9] に、メモリー登録します。
グループNo [1]～[9] の各グループには、[000CH]～[029CH]まで、30チャンネルメモリーできます。
- ③ 受信エリア（周波数範囲）をメモリー登録する→エリアメモリー
メモリーバンクのBANK [A]・[B]・[AB] および、MEMO [A]・[B] のグループNo [0] にメモリー登録します。
BANK [A]・[B]・[AB] の各バンクには、エリアNo [1]～[9]まで、それぞれ10エリアメモリーできます。

MEMO [A] および MEMO [B]					BANK 受信エリア				
MEMO [A]		MEMO [B]			受信エリア				
グループNo	[000CH]・[001CH]	[029CH]	[000CH]	[001CH]	...	[599CH]	エリアNo	[1]	[000000MHz]～[000000]MHz
1	[000MHz]・[001MHz]	[002MHz]	[003MHz]	[004MHz]	[005MHz]	[006MHz]	2	[000000MHz]～[000000]MHz	
2							3	[000000MHz]～[000000]MHz	
3							4	[000000MHz]～[000000]MHz	
4							5	[000000MHz]～[000000]MHz	
5							6	[000000MHz]～[000000]MHz	
6							7	[000000MHz]～[000000]MHz	
7							8	[000000MHz]～[000000]MHz	
8							9	[000000MHz]～[000000]MHz	
9							0	[000000MHz]～[000000]MHz	

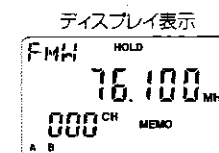
2. ダイレクトメモリーの登録と受信方法

特定のチャンネル（周波数）を、MEMO [A]・[B] に登録することができます。
チャンネルは、No [000CH]～[599CH]まで600チャンネル登録することができます。

① メモリーの登録方法

（例）受信中のチャンネル76.100MHzをダイレクトメモリーする場合

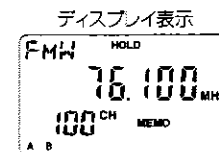
- ① メモリー登録するチャンネルを受信します。
- ② チャンネルメモリーの登録モードにします。
[STEP-SET] キーを1秒以上押ししてください。
チャンネルメモリーの登録モードになり、ディスプレイの「MEMO」、メモリー表示部分「A」、 「B」 および、チャンネルNo「000CH」が点滅表示されます。
- ③ チャンネルNoを指定します。
チャンネルNoを指定する場合は、テンキーまたはアップダウン [▲/▼] ボタンで、チャンネルNoを選択してください。
- ④ [ENTER] キーを押します。
ディスプレイに表示中のチャンネルを、表示中のチャンネルNoにメモリー登録します。



② 受信方法

ダイレクトメモリーしたチャンネルを呼び出して受信します。
（例）MEMO [A] の [100CH] にダイレクトメモリーしたチャンネルを受信する場合

- ① MEMO [A]・[B] を呼び出します。
[MEMO] キーを押して、MEMO [A]・[B] を指定してください。
- ② チャンネルNoを指定します。
アップ/ダウン [▲/▼] ボタンを押して、チャンネルNoを検索します。
（例）の場合、[100CH] を呼び出します。
- ③ チャンネル（周波数）を受信します。
指定したチャンネルNoに登録されているチャンネルで、受信状態になります。
- ④ MEMO [A]・[B] にメモリー登録した全てのチャンネル（最大600チャンネル）をスキャンするには、[START-STOP] ボタンを押します。



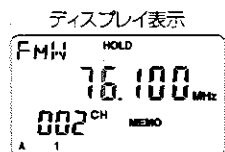
3. グループ別チャンネルメモリの登録と受信方法

チャンネル（周波数）を、MEMO[A]およびMEMO[B]の、グループNo①～⑨にメモリー登録することができます。
 使用頻度や目的に応じて、グループ別に分類してメモリー登録しておけば、簡単に呼び出すことができます。各グループへは、000CH～029CHの30チャンネルを登録できます。

① メモリーの登録方法

(例) チャンネル (76.100MHz) を、MEMO[A]・グループ①の 002CH にメモリー登録する場合

- ① メモリー登録するチャンネルを受信します。
- ② **FUNC** キーを押します。
ディスプレイの「F」が点滅します。
- ③ 5秒以内に **MEMO** キーを押します。
メモリーの登録モードになります。
- ④ **MEMO [A]** を呼び出します。
MEMO キーを押して、MEMO[A]を指定してください。
- ⑤ **ENTER** **①** キーを押します。
- ⑥ グループNoを指定します。
テンキーの①を押してください。
- ⑦ **ENTER** **①** キーを押します。
- ⑧ チャンネルNoを指定します。
テンキーの②を押してください。
- ⑨ **ENTER** **①** キーを押します。
MEMO[A]・グループNo①の 002CH にメモリー登録します。



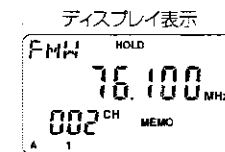
ちょっとひと言

- 周波数を指定しない、または0MHzでメモリー登録をすると、指定したチャンネルにメモリー登録されている内容を消去します。

② 受信方法

(例) MEMO[A]・グループ①の 002CH にメモリー登録したチャンネルを受信する場合

- ① **MEMO [A]** を呼び出します。
MEMO キーを押して、MEMO[A]を指定してください。
- ② グループNoを指定します。
テンキーの①を押して、グループ①を指定してください。
- ③ チャンネルNoを指定します。
アップ/ダウン (▲/▼) ボタンを押して、002CHを指定してください。
- ④ グループ内の全てのチャンネルをスキャンする場合は、**START-STOP** ボタンを押します。



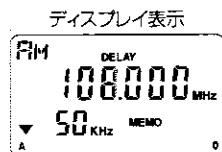
4. エリアメモリーの登録と受信方法

受信したいエリア（受信周波数範囲）を、MEMO[A]およびMEMO[B]のグループNo. [0]にメモリー登録します。

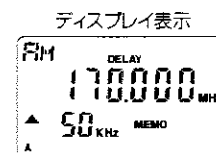
① メモリーの登録方法

(例) 108~170MHzの範囲を、受信モード [AM]、チャンネルステップ [50kHz]、ディレイ時間5秒で、MEMO[A]にメモリー登録する場合

- 1 FUNC キーを押します。
ディスプレイに「F」が表示され、点滅します。
- 2 エリアメモリーの登録モードにします。
BANK キーを押して切り替えてください。
- 3 MEMO [A] を指定します。
MEMO キーを押して切り替えてください。
- 4 ENTER
E キーを押してください。
- 5 受信モードを指定します。
MODE-PASS キーを押して、[AM]に切り替えてください。
- 6 チャンネルステップを指定します。
STEP-SET キーを押して、[50kHz]に切り替えてください。
- 7 ディレイ時間を指定します。
HOLD-DELAY キーを押して [5 SEC]に切り替えてください。
- 8 下限周波数を入力します。
テンキーにより、①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩の順に入力してください。入力ミスした場合は、CLEAR
C キーを2回押してから、再度入力します。
- 9 下限周波数を決定します。
ENTER
E キーを押してください。



- 10 上限周波数を入力します。
テンキーにより、①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩の順に入力してください。入力ミスした場合は、CLEAR
C キーを2回押してから、再度入力します。
- 11 上限周波数を決定します。
ENTER
E キーを押してください。



- 12 エリアメモリーの登録モードを終了する場合は、FUNC キーを押します。
約20秒間の無操作でも終了します。

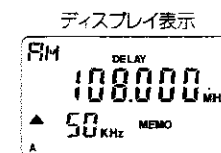
—— ちょっとひと言 ——

- かならず下限周波数を設定してから、上限周波数を設定してください。
- エリアを設定するときは、かならず本機の受信範囲内としてください。
受信範囲は、0.1~1300MHzです。
- 受信モード、チャンネルステップ、ディレイ時間を指定しない場合は、ディスプレイに表示されている状態が、メモリー登録されます。
- 下限周波数を指定しない、または0MHzでメモリー登録をすると、指定したエリアメモリーに登録されている内容を消去します。

② 受信方法

(例) MEMO [A] にメモリー登録したエリアを呼び出して受信する場合

- 1 MEMO [A] を指定します。
MEMO キーを押して切り替えてください。
- 2 グループNo. [0]を指定します。
テンキーの 0 を押してください。
- 3 オートサーチを開始します。
START-STOP ボタンを押してください。



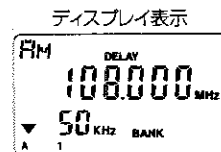
5. バンクの書き替え

メモリーバンクに登録されているエリア（受信周波数範囲）を、別の周波数範囲に書き替えます。

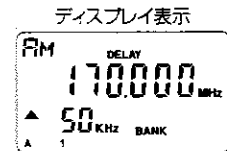
① メモリーの登録方法

（例）108～170MHzの範囲を、受信モード **[AM]**、チャンネルステップ **[50kHz]**、ディレイ時間5秒で、BANK **[A]**・エリア **[1]**にメモリー登録する場合

- ① **[FUNC]** キーを押します。
ディスプレイに「F」が表示され、点滅します。
- ② エリアメモリーの登録モードにします。
[BANK] キーを押してください。
- ③ バンクを指定します。
[BANK] キーを押して、BANK **[A]**に切り替えてください。
- ④ **[ENTER]** キーを押してください。
- ⑤ エリアNoを指定します。
テンキーまたはアップ/ダウン **[▲/▼]** ボタンを押して、エリア **[1]**を指定してください。
- ⑥ **[ENTER]** キーを押してください。
- ⑦ 受信モードを指定します。
[MODE-PASS] キーを押して、**[AM]**に切り替えてください。
- ⑧ チャンネルステップを指定します。
[STEP-SET] キーを押して **[50kHz]**に切り替えてください。
- ⑨ ディレイ時間を指定します。
[HOLD-DELAY] キーを押して **[5 SEC]**に切り替えてください。
- ⑩ 下限周波数を入力します。
テンキーにより、①⑦⑧⑨⑩⑪⑫の順に入力してください。入力ミスした場合は、**[CLEAR]** キーを2回押してから、再度入力します。
- ⑪ 下限周波数を決定します。
[ENTER] キーを押してください。



- ⑫ 上限周波数を入力します。
テンキーにより、①⑦⑧⑨⑩⑪⑫の順に入力してください。入力ミスした場合は、**[CLEAR]** キーを2回押してから、再度入力します。
- ⑬ 上限周波数を決定します。
[ENTER] キーを押してください。



- ⑭ エリアメモリーの登録モードを終了する場合は、**[FUNC]** キーを押します。
約20秒間の無操作でも終了します。

ちょっとひと言

- かならず下限周波数を設定してから、上限周波数を設定してください。
- エリアを設定するときは、かならず本機の受信範囲内としてください。
受信範囲は、0.1～1300MHzです。
- 受信モード、チャンネルステップ、ディレイ時間を指定しない場合は、ディスプレイに表示されている状態が、メモリー登録されます。

② エリアの初期化

書き替えた受信エリアを、初期の受信周波数範囲に戻します。
（例）BANK **[A]**・エリア **[1]**の受信エリア（受信周波数範囲）を、初期の受信エリア（NTT携帯電話基地局）に戻します。

- ① **[FUNC]** キーを押します。
ディスプレイに「F」が表示され、点滅します。
- ② エリアメモリーの登録モードにします。
[BANK] キーを押してください。
- ③ バンクを指定します。
[BANK] キーを押して、BANK **[A]**に切り替えてください。
- ④ エリアNoを指定します。
テンキーまたはアップ/ダウン **[▲/▼]** ボタンを押して、エリア **[1]**を指定してください。
- ⑤ **[CLEAR]** キーを押してください。
- ⑥ **[ENTER]** キーを押してください。

6. パスメモリーの登録

① メモリーの登録方法

制御チャンネルなど、受信に不要なチャンネルを、パスメモリーに登録しておく、オートサーチ中は、登録したチャンネルをパスします。

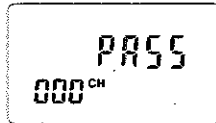
① 不要なチャンネルを受信します。

オートサーチにより、不要なチャンネルを受信します。不要なチャンネル（周波数）がわかっているときは、ダイレクト受信をしてください。

② パスメモリーに登録します。

MODE-PASS キーを1秒以上押し続け
てください。
ディスプレイに "PASS" の文字とチャンネルNoを約1秒間表示します。

ディスプレイ表示



ちょっとひと言

- マニュアルモード時は、パスメモリーの登録はできません。
- パスメモリーには、最大200CHまでメモリー登録できます。
- パスメモリーには、登録順のチャンネルNo (**000CH** → **001CH** → … → **199CH**) で、メモリー登録されます。

7. メモリーの消去

メモリーバンクに登録した内容を、取り消すことができます。

① ダイレクトメモリーの消去

MEMO **[AB]** にメモリー登録したチャンネルを消去します。

操作方法

(例) MEMO **[AB]** の **[100CH]** にメモリー登録したチャンネルを消去する場合

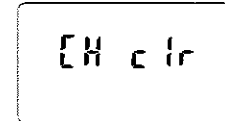
① **FUNC** キーを押します。

ディスプレイに "F" が表示され、点滅します。

② **STEP-SET** キーを押します。

ダイレクトメモリーの消去モードになり、ディスプレイに約1秒間 "CH clr" と表示されたあと、ダイレクトメモリーした最後のチャンネルNoと周波数を表示します。

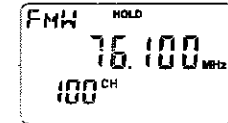
ディスプレイ表示



③ チャンネルNoを指定します。

テンキーまたはアップ/ダウン (▲/▼) ボタンを押して、**[100CH]** を指定してください。

ディスプレイ表示



④ **ENTER** キーを押してください。

指定したチャンネルを消去します。

⑤ **CLEAR** キーまたは **FUNC** キーを押します。

ダイレクトメモリーの消去モードを解除するには、**CLEAR** キーまたは **FUNC** キーを押します。約20秒間の無操作でも終了します。

② メモリーバンクの初期化

MEMO [A]・[B]・[AB]に登録されている内容を全て消去し、BANK [A]・[B]・[AB]の登録内容を、初期の状態に戻します。

操作方法

- ① 電源を切ります。
POWER スイッチを1秒以上押し続けて、電源を切ってください。
- ② テンキーの⑦キーと⑨キーを押し続けます。
⑦キーと⑨キーを押しながら電源ON
- ③ 電源を入れます。
POWER スイッチを1秒以上押し続けてください。
メモリーバンクの初期化モードになり、ディスプレイに“CH ALL”と表示されます。初期化中は、ディスプレイのチャンネル表示部分で、カウントダウン表示をします。
ディスプレイ表示
CH ALL
500
- ④ メモリーバンクの初期化が終了すると、自動的に電源が切れます。

② バスメモリーの消去

〈消去するチャンネルを指定する〉

(例) バスメモリーのチャンネルNo [100CH] に登録したチャンネルを取り消す場合

- ① FUNC キーを押します。
ディスプレイに“F”が表示され、点滅します。
- ② MODE-PASS キーを押します。
バスメモリーの消去モードになり、ディスプレイに約1秒間“PASclr”と表示されたあと、最後に登録したチャンネルが表示されます。
ディスプレイ表示
PASclr
- ③ チャンネルNo [100CH] を指定します。
テンキーにより、チャンネルNoを入力します。(アップ/ダウン(▲/▼)ボタンで選択することもできます。)
ディスプレイ表示
76.100 MHz
100 CH
- ④ ENTER キーを押します。
指定したチャンネルNoのバスメモリーを消去します。
- ⑤ バスメモリーの消去モードを解除するには、CLEAR または FUNC キーを押します。
約20秒間の無操作でも終了します。

ちょっと一言

- バスメモリーを消去した場合は、チャンネルNoが繰り下がります。
例えば、チャンネルNo [005CH] のバスメモリーを消去した場合、消去前のチャンネルNoが [006CH] のチャンネルが、[005CH] になります。

〈バスメモリーを全て消去する〉

バスメモリーに登録した全てのチャンネルを消去します。

操作方法

- 1 電源を切ります。
POWER スイッチを1秒以上押し続けて、電源を切ってください。
- 2 テンキーの④キーと⑥キーを押し続けます。
④キーと⑥キーを押しながら電源ON
- 3 電源を入れます。
POWER スイッチを1秒以上押し続けてください。
↓
バスメモリーの全消去モードになり、ディスプレイに“PASALL”と表示され、消去中は、ディスプレイのチャンネル表示部分で、カウントダウン表示をします。
ディスプレイ表示
PASALL
500
- 4 バスメモリーの消去が終了すると、自動的に電源が切れます。

④ メモリーオールクリア
全てのメモリーを初期の状態に戻します。

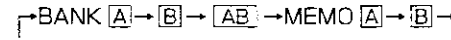
操作方法

- 1 電源を切ります。
POWER スイッチを1秒以上押し続けて、電源を切ってください。
- 2 テンキーの①キーと⑤キーを押し続けます。
①キーと⑤キーを押しながら電源ON
- 3 電源を入れます。
POWER スイッチを1秒以上押し続けてください。
↓
メモリーの全消去モードになり、ディスプレイに“ALLclr”と表示され、消去中は、ディスプレイのチャンネル表示部分で、カウントダウン表示をします。
ディスプレイ表示
ALLclr
500
- 4 メモリーの消去が終了すると、自動的に電源が切れます。

8. プログラム受信

メモリーバンク内の、複数のエリアまたはグループを、サーチ/スキャンすることができます。

※サーチ/スキャンする順番は、

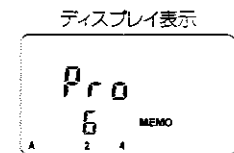


で、エリア（グループ）Noの小さい順に、サーチ/スキャンします。

操作方法

(例) BANK [A]のエリア③、⑥とサーチしたあと、BANK [B]のエリア⑤、⑧を連続サーチし、MEMO [A]のエリア②、④とスキャンする場合

- 1 BANK [A]を指定します。
BANK キーにより、BANK [A]を指定します。
- 2 最初のエリアNoを指定します。
テンキーの③を押してください。
- 3 PRO・PRI キーを押します。
キーを押すとプログラム受信モードとなり、エリア③が点滅します。
- 4 プログラム受信するエリアを指定します。
BANK キーによりバンク、MEMO キーによりメモリーを切り替え、テンキーによりメモリーを切り替え、テンキーによりエリアまたはグループを切り替えます。
(例)の場合は、⑥→BANK→⑤→⑧→MEMO→②→④の順に入力します。
バンクまたはメモリーを切り替えた場合は、ディスプレイの周波数表示部に“Pro”と表示され、チャンネル表示部に指定したエリアとグループの合計が表示されます。



- ⑤ **START-STOP** ボタンを押します。
最初のエリアよりオートサーチをはじめます。サーチ中のバンクおよびエリアNoが点滅します。



- ⑥ プログラム受信を解除するときは、**PRO-PRI** キーを押します。

ちょっとひと言

- MEMO (AB) はプログラム受信できません。
- 同じ受信エリアを2回指定すると、指定を解除します。
- サーチとスキャン
自動選局の種類にはサーチとスキャンがあります。サーチは受信エリア（受信周波数範囲）内のチャンネルを、チャンネルステップにより1ステップずつ検索します。一方、スキャンはメモリーバンクのメモリー（MEMO）に登録したチャンネル（周波数）を検索します。

9. プライオリティ受信

他のチャンネルを受信中でも、プライオリティチャンネルの検索をおこない、信号があれば優先受信します。

プライオリティチャンネルは [000CH] ~ [009CH] までの10チャンネルがあります。
※また、[000CH] には350.1MHz（速度取締連絡波）が登録されています。

1. プライオリティチャンネルのメモリー登録

操作方法

(例) 受信モード [AM]・ディレイ時間5秒・受信周波数 [118.000MHz] のチャンネルをプライオリティチャンネルとしてチャンネルNo [005CH] にメモリー登録する場合

- ① **FUNC** キーを押します。
ディスプレイに "F" が表示され、点滅します。
- ② **プライオリティチャンネルの登録モードにします。**
PRO-PRI キーを押してください。
ディスプレイに "Pri" と1秒間表示されます。
- ③ **チャンネルNoを入力します。**
テンキーまたはアップ/ダウン (▲/▼) ボタンにより、チャンネルNo [005CH] を指定してください。
- ④ **ENTER** キーを押してください。
ディスプレイに表示中のチャンネルNoが、点滅から点灯になります。
- ⑤ **受信モードを指定します。**
MODE-PASS キーを押して、AMに切り替えてください。
- ⑥ **ディレイ時間を指定します。**
HOLD-DELAY キーを押して、ディレイ時間を5秒に設定します。
- ⑦ **周波数を入力します。**
テンキーにより、①①⑧①①①①の順に入力します。

ディスプレイ表示

Pri

↓
8. ENTER

⑧ キーを押します。

プライオリティチャンネルにメモリー登録し、登録したチャンネルでプライオリティ受信を開始します。



9. CLEAR
⑨ プライオリティチャンネルの登録モードを解除するときは、**○** キーまたは **FUNC** キーを押します。

約20秒間の無操作でも解除します。

ちょっとひと言

- [0000CH] には登録できません。
- メモリー登録時にチャンネルNoを指定しない場合は、登録順のチャンネルNoで登録されます。

2. プライオリティチャンネルの受信方法

プライオリティチャンネルメモリーにメモリー登録したチャンネルを呼び出して、プライオリティ受信をします。

操作方法

(例) 他のチャンネルを受信中に、チャンネルNo [005CH] のプライオリティチャンネルを受信する場合

1. 他のチャンネルを受信中に、**PRO・PRI** キーを1秒以上押し続けます。
ディスプレイに“PRI”が表示されます。

2. チャンネルNo [005CH] を指定します。
テンキーまたはアップ/ダウンボタンにより、チャンネルNoを指定します。



3. ENTER
③ キーを押します。
指定したチャンネルでプライオリティ受信を開始します。3秒間隔でプライオリティチャンネルの信号検索をおこないます。

4. プライオリティチャンネルに信号（電波）があれば、受信状態になります。
ブザー音が鳴り、ディスプレイの“PRI”が表示されます。

5. プライオリティ受信を解除するには、**PRO・PRI** キーを1秒以上押し続けます。

ちょっとひと言

- プライオリティチャンネルの信号検出時は、受信中の音声は3秒間隔で途切れますが、これは、故障ではありません。

10. 盗聴電波の受信

無線式盗聴器の発信周波数は、特定の周波数帯が使用されています。
本機は、無線式盗聴器によく使用されている、VHF/UHF帯の周波数を、BANK[A]のエリア[0]にメモリー登録しています。

1. 盗聴電波の受信方法

BANK [A]のエリア[0]を呼び出して、オートサーチまたはマニュアルサーチします。受信方法は、P12「2.受信方法」をご参照ください。

2. 盗聴器の場所の特定

盗聴電波を受信することにより、盗聴器の場所を特定することができます。

- ① レベルメーターの表示をONにします。
レベルメーターの表示については、P50「レベルメーターON/OFF」を参照してください。
- ② 盗聴電波の強い方向を調べます。
ディスプレイのレベルメーターがよく振れる方向へ進みます。
- ③ レベルメーターの振れが最大となったら、アンテナを外し、さらに電波の強い方向に進みます。
- ④ 電波の発信源（盗聴器）に接近すると、ハウリングが起こります。
盗聴器から数mの位置に近づくと、「ワーン」と大きなハウリング音が鳴ります。
- ⑤ ハウリングが起きた場所の近辺をよく調べてみてください。

ちょっと一言

- 本機は、VHF/UHF帯の無線を使用した、盗聴器の発信電波を受信するものです。
- 盗聴器はその性質上、発見が難しい場所や、「こんなものが」と思うものにセットされています。発見が難しい場合や、危険を伴うおそれがある場合は、専門の調査機関に依頼してください。

11. ファンクションキーを使用した機能

ファンクションキーと、各機能キーとの組み合わせにより、各種の便利な機能を使用することができます。

操作方法

[FUNC] キーを押して、ディスプレイに「F」が点滅している間（5秒間）に各機能キーを押します。

- ① [FUNC] キーを押します。
ディスプレイに「F」が点滅します。
- ② 各機能キーを押します。
ファンクションモードでの機能となり、各機能キーにより、それぞれ違う機能となります。

	機能キー	ファンクションモードでの機能
	[LIGHT-KEY]	バックライト点灯
	[PRO-PRI]	プライオリティチャンネルの登録 →P45
	[MODE-PASS]	パスメモリーの消去 →P41
	[STEP-SET]	ダイレクトメモリーの消去 →P39
	[BANK]	エリアメモリーの登録 →P34
[FUNC] →	[MEMO]	チャンネルメモリーの登録 →P32
	[SECRET]	秘話解読（音声反転） →P26
	[REVERSE]	リバースモード →P27
	[ATTEN]	アッテネーターON/OFF
	[6s]	6秒 オートサーチ
	[KEY-ON/OFF]	キートーンON/OFF
	[LEVEL]	レベルメーターON/OFF

ちょっと一言

- キーを押したあと、5秒以内に機能キーを押さない場合は、ファンクションモードが自動的に解除されます。

- ① **FUNC** キー→テンキー^{ATT} ③ —— 〈アッテネーターON/OFF〉
 受信アッテネーターのON/OFFをします。
 アッテネーターをONにすると、受信感度が約15dB減衰します。
 ※アッテネーターがONのときはディスプレイの“MHz”が点滅します。
 強い電波を受信したときや、混信がひどいときに、アッテネーターをONにしてください。

- ② **FUNC** キー→テンキー^{AUTO ST} ④ —— 〈6秒オートサーチ〉
 6秒間電波を受信すると、自動にオートサーチを開始します。
 6秒オートサーチ中は、ディスプレイの“DELAY”表示が点滅します。
 このモードを解除するには、**FUNC** キー→テンキー^{AUTO ST} ④ の操作をします。

- ③ **FUNC** キー→テンキー^{KT} ⑤ —— 〈キートンON/OFF〉
 全てのキートン（キー操作時のブザー音）を消します。
 解除するには、**FUNC** キー→テンキー^{KT} ⑤ の操作をします。

- ④ **FUNC** キー→テンキー^{LEVEL} ⑥ —— 〈レベルメーターON/OFF〉
 ディスプレイのチャンネル表示部で、受信電波の強さを表示します。



解除するには、**FUNC** キー→テンキー^{LEVEL} ⑥ の操作をします。

- ⑤ **FUNC** キー→**LIGHT・KEY** キー —— 〈バックライト点灯/消灯〉
 ディスプレイとテンキーのバックライトを点灯します。
 消灯するには、**FUNC** キー→**LIGHT・KEY** キーの操作をします。

12. 故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じたときは、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症 状	原 因
電源が入らない (画面表示しない)	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池が消耗している →新しい電池に交換してください ● 電源プラグが奥まで入っていない ● 外部電源がきていない
受信しない (音が出ない)	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量が低い ● イヤホンが接続されている ● 電波状況が悪い
音声途切れる	<ul style="list-style-type: none"> ● スケルチつまみが右に回りすぎている →左（反時計方向）に回してください ● 電波が弱い ● アッテネーターがONになっている（→P50） →アッテネーターをOFFにしてください ● プライオリティ受信をしている（→P45） →プライオリティ受信を解除してください
受信音がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ● 受信モードがあっていない（→P23） →受信モードを切り替えてください ● 秘話解読モードになっている（→P26） →秘話解読モードを解除してください
変な信号音を受信する	<ul style="list-style-type: none"> ● 制御チャンネル信号やデジタル通信を受信している →音声での受信はできません
操作キーを押しても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● キーロック（KEY LOCK）状態になっている（→P13） →キーロックを解除してください
サーチしない	<ul style="list-style-type: none"> ● スケルチつまみが左に回りすぎている →右（時計方向）に回してください

13. 主な仕様

- 電源電圧.....DC6V 単3形乾電池4本
DC12V 外部電源
- 受信周波数.....0.1MHz~1300MHz
- 受信電波型式.....AM/FM-N/FM-W
- 周波数ステップ.....5/6.25/9/10/12.5/20/25/50/100kHz
- メモリー数.....エリアメモリー 32エリア
チャンネルメモリー 1140チャンネル
バスメモリー 200チャンネル
プライオリティー 10チャンネル
- アンテナインピーダンス.....50Ω
- 受信感度.....AM 1.0μV S/N 10dB
FM-N 0.5μV 12dB SINAD
FM-W 1.0μV S/N 20dB
- 動作温度範囲.....-10℃~+60℃
- 外形寸法.....68 (W)×39 (D) ×150 (H) mm
※アンテナおよび突起部は除く
- 重量.....220g

保証規定

1. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は、本機に保証書を添えて、お買い上げ販売店にお持ちください。
3. 次のような場合には保証期間内であっても有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、本機に改造を加えたことによる故障、またはお買い上げ店以外で修理されたことによる故障
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障や損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、公害、規定外の電源(電圧・周波数)の使用、その他天災地変などによる故障および損傷
 - (ニ) 保証書のご提示がない場合
 - (ホ) 保証書の指定事項の未記入、あるいは字句が書き替えられている場合
4. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

修理メモ

お詫びと訂正

下記の2点で、不備がありましたので、訂正いたします。

①取扱説明書

(21ページ：メモリーバンクの受信エリア一覧表)

バンク： C → AB

②バンドラベル（付属シール、受信エリア一覧表）

BANK C → BANK AB